



# シュクラン日記 ～No. 9～

2022. 4. 1

## ラマダンが始まります！！



アッサロームアレイクム！こんにちは！

UAEでは明日(4月2日)からラマダンが始まります。ラマダンとは日本語で「熱い月」という意味となりアジュラ歴の第9月を指すそうですが、現在は多くの方がラマダン＝断食を連想すると思います。断食と言っても日の出から日没までの約15時間の断食を1か月繰り返すといったもので、日没後の食事(イフタル)で食べ過ぎて結果的にラマダン期間が終わると太っているという人も多いそうです。UAEは厳格なムスリムが多いので、断食をする人も多いのですが、以前住んでいたウズベキスタン(人口の93%がムスリム)では断食する人・しない人それぞれで、ラマダン期間も普段とは特に変わらず、国によってもラマダンの雰囲気は違うのだなと感じました。ウズベキスタンにいた頃も、去年も断食に挑戦したことは無かったのですが、せっかくなので今年は1週間だけ挑戦してみようかと思います！(1か月は厳しいです…。)

また去年はコロナも相まって、UAE中の道場がラマダン期間中の練習をストップさせていましたが、私は可能な限り練習を続けようと思います。日本でいう寒稽古・暑中稽古のような位置付けにしたいですね！

## 3月の活動報告

今月は3月23日～25日にヨルダンで開催されたアラビック大会に参加してきました。私がUAEに来て以来2度目の国外大会となりました。前は去年の9月にエジプトで行われたアラビック大会でカデの選手(15～17歳)を引率しましたが、今回はジュニア・シニア(18歳以上)のカテゴリーへの出場となりました。またヨルダン出発前には国内で1週間の合宿も行いました。

前回のアラビック大会(エジプト)では8人が出場し、1名銅メダルを獲得したものの、残りの選手は負けてしまい、団体戦でも入賞することができませんでした。そのような経緯もあり、今回は少しでも結果を残したいという思いで、選手選考から合宿のスケジュールまで柔道連盟のディレクターと会議をし、合宿が開催される2週間前には準備が整っていました。ところが計画通りに事は進みませんでした。合宿の1週間前に別の件で連盟を訪れた際、ディレクターがいたので挨拶をすると、「試合に参加する選手を変更した」と唐突に伝えられました。またローカル選手だけではメダルが取れないので、ビクトルチームと合同で参加することも同時に伝えられました。

※ビクトルチームとはUAEの帰化選手で構成されたチームで、ビクトルはそのチームの監督です。ビクトル自身も2013年にモルドバからUAEに帰化した元選手で、東京オリンピック後にナショナル監督に就任、そして今年からUAEは新たに4選手を帰化選手として迎え入れました。

「散々話し合ったあの会議は何だったの?」という思いや、「ローカル選手だけではメダルが取れない」という発言に対してももどかしさを感じましたが、エジプトのアラビック大会で結果を残せなかったこと、ジュニア・シニアの選手のアラビック大会への引率が初めてということもあり、彼らがどれだけ戦えるのか、またヨルダンのアラビック大会のレベルがどれほどのものなのか検討つかず、ディレクターの発言に対して言い返せない自分も

いました。ただ悔しかったです。

またこれだけにとどまらず、合宿が開催される前にも様々なトラブルがありました。元々国内合宿はフジャイラで行われる予定だったので、合宿前日に「明日からフジャイラにいつくるね。」と連盟のマネージャーに連絡したところ、「合宿はアブダビに変更した、コウキはアブダビに住んでいるからホテルは取ってないよ。」と言われました。私が電話をしていなければ合宿の場所が変更したことすら伝えられていなかったのかと思うとゾッとしましたし、合宿なのにホテルを取ってもらえないことにも腹立たしさを感じました。また今回の合宿は前半は私が担当し、後半はビクトルチームも合流し合同で合宿を行う日程でしたが、連盟からの選手へのアナウンスは「ビクトルコーチの合宿が行われるのでしっかりと参加するように」という内容で、そこに私の名前は一切ありませんでした。選手選考も合宿の日程・内容も会議を踏まえて決めたものなのに、知らないうちにすべてが変更されていて、こんなにも全てを無かったことにされるんだという虚しさや、ホテルを取ってくれないのもビクトルがいるからお前は別に必要ないと言われているような気持ちになり、どんどんネガティブな考えになっていきました。

完全に落ち込んでいる状態で合宿はスタートしましたが、連盟のことは一度忘れて練習に集中しようと切り替えました。

合宿は午前・午後の2部練習を行いました。午前は体感トレーニングやジムでノートレーニング、ランニングを行い、午後は柔道というスケジュールでした。ジュニアの選手は合宿前から比較的に練習に取り組んでいましたが、シニアの選手は彼らの仕事の都合もあり、1か月以上練習していない者もいました。こういった背景もあり、ローカルのシニアの選手の強化は難しい部分があるのですが、今回の合宿では怪我に気を付けつつ、体力を取り戻せと鼓舞しながら練習させました。合宿後

半はビクトルチームも合流し、より実践的な練習メニューにシフトしていきました。いつものことながら、「腰が痛い」、「指が痛い」、「疲れた」と言いつつも、最後まで大きな怪我なく合宿を乗り越えた部分に関してはよく頑張ったと思います。試合に繋がる良い合宿となりました。



また合宿を通して私自身にも変化があり、抱えていたモヤモヤは少しずつ解消されました。よくよく考えればいつも連盟から「報告・連絡・相談」はありません。急な日程変更、ギリギリのスケジュールリングもよくあることです。私に対してだけでなく、連盟内でも情報共有が上手くいっていません。ホテルの件に関しても、アブダビに居住している者はルールとしてホテル代が出ないという説明を貰いました。選手たちも、「連盟から合宿があると言われても、合宿にきて練習が始まるまでは分からない。連盟だけじゃなく、これがUAEのカルチャーだ」と話してくれました。決して連盟が悪いわけではなく、これがここでの働き方であり、適応しようとする努力が大切なのだと感じました。心に余裕がないと、どうしても視野が狭くなり主観的に物事を見てしまうものです。これもまた異文化理解の難しさですね、勉強になりました。これからはへこたれず、落ち込まず、強い気持ちと少しの余裕を持って連盟とやり取りしていければと思います。

合宿は無事終わり、ヨルダンに出発です！



一人はシートの上で寝て、もう一人は床で寝るという斬新な飛行機の過ごし方をしている選手たちがいました。面白いです。



さて試合はジュニアのカテゴリーからスタートしました。ジュニアには60kgのアフメッド・ジャシム、73kgのサイド、+100kgのハリブの3選手が出場しました。ローカルの選手が勝つのは難しいという前評判を覆し全員が決勝に進出しました。迎えた決勝でも全員が一本勝ちを決め3人も優勝しました。また全試合を振り返ってみれば三人とも全試合オール一本勝ちという輝かしい結果を残してくれました！



特に60kgのアフメッド・ジャシムはアブダビで指導している生徒の1人で、最近では組手の強化をしていたこともあり、ただがむしゃらな柔道をするのではなく、守るところは守り、攻めるところは攻め、相手に応じて組手を変えたりと練習の成果を十分に発揮していたのも印象的でした。初日から良いスタートが切れました！



2日目はシニアの個人戦でした。ローカルチームからは60kgのアフメッド・フェイサル、81kgのカリーファ、+100kgのアリの3選手出場しました。アフメッド・フェイサルは初戦で技有を先行したものの、ラスト20秒で技有を取り返され、ゴールデンスコア(延長戦)でバテてしまい寝技で負けてしまいました。+100kgのアリも初戦で最初に指導2を取ったものの、体力が持たず指導2を取り返され、ゴールデンスコアに入った後すぐに寝技で負けてしまいました。81kgのカリーファに関しては準決勝で敗れたものの3位決定戦で一本を取り、3位となりました。1名銅メダルを獲得したことは大きな収穫ですが、体力が持たず負けてしまうというのは勿体ない負けだなと感じました。

またビクトルチームからも3選手が出場し、1名は初戦で敗退したものの、2名は前評判通り優勝し、シニアでもUAEチームとしては2個の金メダルと、1つの銅メダルを獲得しました。またアラビック大会ではメダル獲得数を基準に国別ランキングが発表・表彰されるのですが、約15か国が出場した中でジュニアもシニアもUAEチームが1位となり表彰して頂きました！ジュニアに関しては3選手しか出場していないにも関わらず、3人が優勝したことでランキングトップになりました。アナウ

ンスされたときは驚きと嬉しさが入り混じったような感情になりました。他の国のコーチからも「3人しか出ていないのにランキングトップはすごいね」と褒めて頂き、指導者になって初めてのトロフィーも頂きました！頑張ってくれた選手たちには感謝しかありません。



最終日はシニアの団体戦がありました。2選手がローカルチーム、3選手がビクトルチームという構成でした。準決勝まではローカルチームの選手も健闘し危なげなく決勝にコマを進めました。決勝はバーレーンチームとの対決で、バーレーンもUAE同様、帰化選手で構成されているチームでした。非常に接戦でいい勝負でしたが、ビクトルチームの3選手が勝利し、3-2でUAEチームが優勝しました。正直ローカルチームだけでここまで戦えたらどれだけいいだろうかと考えますが、なかなか現状では難しいですね。何はともあれ、初日から最終日まで良い結果で大会を終えることができ本当に良かったです！



新聞やウェブニュースに沢山掲載して頂いたので一部共有させていただきます↓



人生で初めて胴上げをしてもらいました！！

合宿の前から色々な葛藤がありました、「終わりよければすべてよし」ですね。また次の目標に向かって頑張ろうと思えました！

さて4月はラマダン期間なので大きな活動は特に予定されていませんが、引き続きアブダビでの指導をコツコツ頑張りたいと思います。

芦田 弘毅

## إنجاز غير مسوق لجودو الإمارات في افتتاح عربية الأردن أحمد جاسم وحارب جمعة وسعيد النقبي أبطال من ذهب



أبو ظبي - الوطن

**الدرعي: لقب  
شباب العرب بداية  
المشوار، استثماراً  
لدعم القيادة**

تلعب الدرعي رئيس اتحاد الإمارات للمصارعة والجودو مهتماً بالإنجاز المتميز الذي حققه جودو الإمارات، ثمناً للإنجاز الشاب يحصلون متخنياً على لقب فئة الشباب العرب كإنجاز غير مسبق لجودو الإمارات والذي سيكون حافظاً لبقية أعضاء المنتخب لتحقيق المزيد من النتائج الإيجابية المرجوة خلال منافسات البطولة في أوزانها الباقية بالرغم من قوة منافسات البطولة التي تضم العديد من المنتخبات القوية المرشحة.. مؤكداً بأن تتويج المنتخب الشاب جاء انعكاساً

الأردن والسعودية.. ونال الصاعد أحمد

تتوج منتخبنا الوطني للشباب بلقب البطولة العربية للجودو لفئة الشباب برصيد 3 ميداليات ذهبية مع انطلاق منافسات البطولة العربية للجودو للمنتخبات والأندية للجنسين، والتي انطلقت منافساتها أمس الأول تحت رعاية الأمير الحسن بن طلال والمقامة بمسالة الأرينا في جامعة عمان الأردنية الأهلية، والتي تشهد مشاركة 115 لاعباً والأعبة 17 دولة ممثلة في منتخبات الإمارات،

## إنجاز جديد لرياضة الإمارات في الأردن «رجال الجودو» أبطال العرب بـ 3 ميداليات



محمد بن الطوب الدرعي

**الدرعي: ما تحقق يدعو  
للاعتزاز وتنطلق  
للاستحقاقات  
المقبلة**

بمعة الإمارات تحتفل بالإنجاز الجودو في البطولة العربية (الاتحاد)

أبو ظبي (الاتحاد)

منتخبات عربية شاركت في منافسات البطولة العربية للجودو لمنتخبات الرجال والسيدات، وحرص محمد بن طوب الدرعي رئيس اتحاد المصارعة والجودو على الاضطلاع بأوضاع التمرمي الأمين العام للاتحاد، أمين خزنة الاتحاد الدولي، ممثل الاتحاد الدولي في البطولة، ومحمد جاسم السجواني أمين السمس المساعد ورئيس الممعة مهتماً بالإنجاز والذي يضاف لسلسلة النتائج المتميزة التي حققها المنتخب خلال مشاركته العربية الحالية بفوزه بلقب البطولة العربية للشباب والرجال.

وقال الدرعي: النتائج المشرفة حامت بفضل المستوى الفني الكبير الذي ظهر به أفراد المنتخب في هذه البطولة، متسلحين بالعزيزية والإصرار والتحدى، لإحراز اللقب ورفع اسم بلادهم عالياً في مختلف المجالات.

أصبح منتخبنا الوطني رجال الجودو إنجازاً جديداً لرياضة الإمارات، بفوزه بلقب البطولة العربية للجودو للرجال، التي تحتضنها الأردن، وتستمر منافساتها حتى الخميس المقبل، تحت رعاية الأمير الحسن بن طلال، وتشارك فيها 16 دولة.

وحصد منتخبنا 3 ميداليات (ذهبيتين وبيرونية)، فوز اللاعبين ماجو معروف ووجازري نالوا بالميداليتين الذهبيتين، والمساعد خليفة الحوسني بالميدالية البرونزية، فيما احتل الشاب سعيد النقبي المركز الخامس بعد فوزه الأربعة، المعاضبي بلقبه وزن تحت 73 كجم لفئة الشباب، ويأتي الإنجاز واللقب العربي على حساب